

フジカ35-EE



Instructions



使用説明書

お買い上げありがとうございました

- フジカ 35-EE は、フジカ 35-M から SE にいたるフジカラインの技術を結集した画期的な EE カメラで、フジカスタイルとともに、見やすいゴールデンフレームファインダーや独特のリモートフォーカシングなど、優秀な機能をそっくり受けつぎ、EE カメラとしても他に見られない特長をそなえています。
- シャッターをきれば自動的に適正露出が得られるのはもちろんですが、そのときの絞り値がカメラ上部の露出計に指示されるのはフジカ 35-EE に独自のものです。
- そのため、あらかじめ絞り値を知ることができますので、被写体と作画意図によって、自由に絞りと速度が選べ、また、露光の過不足もすぐにわかり、シャッターチャンスを逃すようなことはありません。
- 更に、絞りをマニュアル(手動)で操作する場合も露出計は作動していますので、作画効果をねらって絞り調節をするのにもきわめて便利です。
- フジカ 35-EE はこのような優れた特長をそなえ、しかも操作は非常に簡単ですので、きっと十二分にご活用いただき、たくさんの楽しい写真、すぐれた作品を生みだされることと信じております。

目次

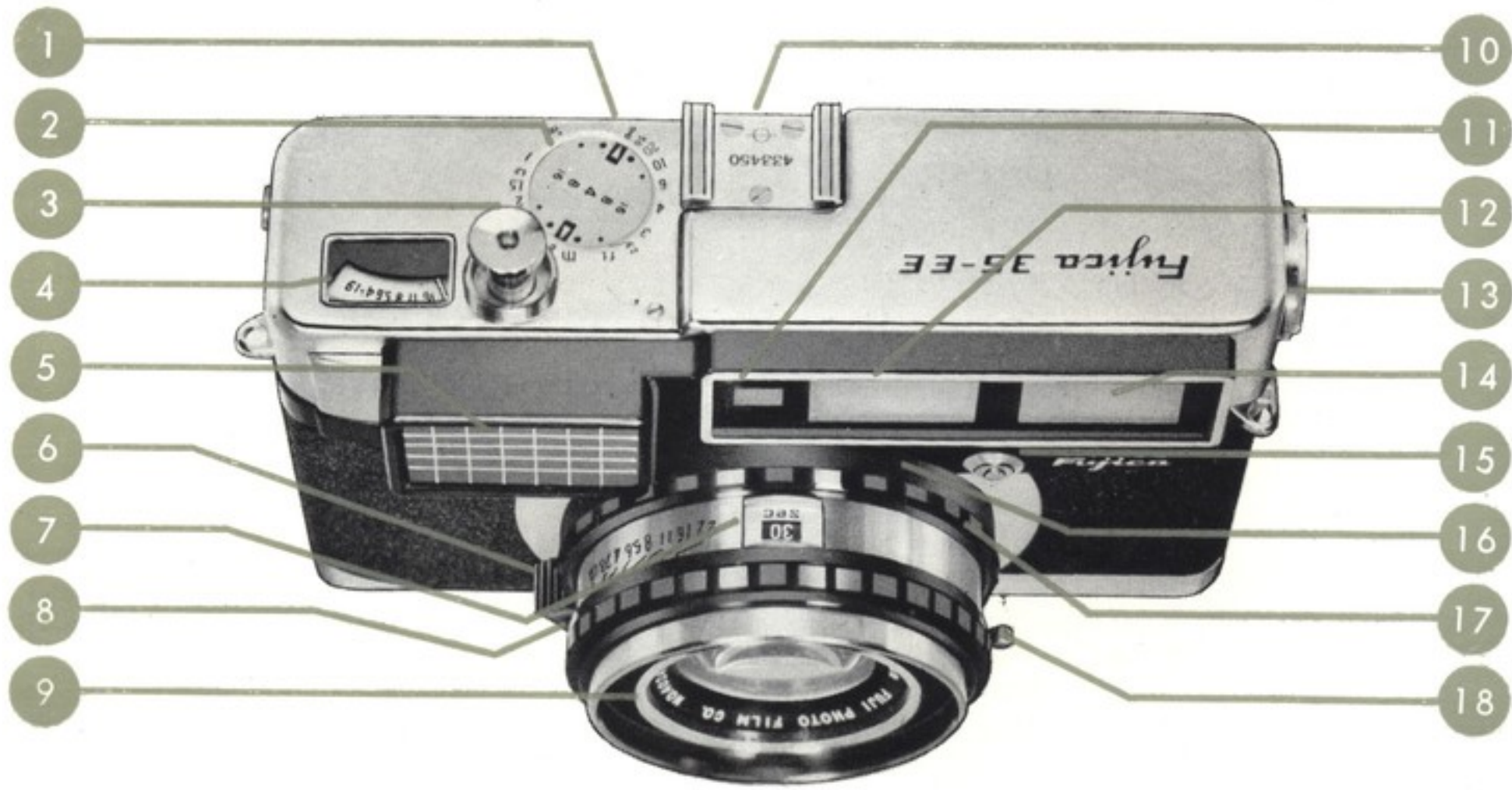
- 各部の名称…………… 5
- フィルムの入れ方…………… 6
- フィルムの取り出し方…………… 9
- 撮影の仕方……………10
 - I EEでの使い方……………11
 - II セミ連動での使い方……………12
 - III 特殊な撮影の仕方……………13
 - IV 露出計連動範囲外での
使い方……………16
- フィルムの露光指数……………17
- ファインダー……………19
- 焦点調節の仕方……………20
- 被写界深度……………21
- シャッタースピード
について……………24
- 動く被写体を止めて
撮影するには……………25
- セルフタイマーの使い方……………26
- フラッシュによる撮影……………27
- 取扱い上のご注意……………29
- フジカの便利な付属品……………31

機 構

- 画面サイズ: 24×36mm
- 使用フィルム: J135 (35 mm パトローネ入りフィルム 36枚または20枚撮り)
- レンズ: フジノン F1.9 45 mm 4群6枚構成 (アンバーコート)
- シャッター: フジシンクロ MXL
B. 1. 2. 4. 8. 15. 30. 60. 125. 250. 500. 1,000
倍数系列等間隔目盛
MX 接点切替えによるフルシンクロ機構
セルフタイマー ビルトイン
- ファインダー: 採光式ブライトフレームファインダー
ゴールデンフレームにより明確に構図を決定できる
パララックス完全自動匡正 倍率0.7倍
露光過不足, オート, マニュアル (手動) 切替え警告マーク付
- 距離計: 高性能の一眼二重像式連動距離計 有効基線長 31.2 mm
- 焦点調節: ボディー背面の焦点調節ノブによる独特のリモートフォーカシングシステム
- 絞り調節: 内蔵露出計による完全自動式
- フィルム巻上げ: セルフコッキングレバー式1回巻上げ 二重露光完全防止
- フィルムカウンター: 積算式 (順算式) 裏蓋を開くと自動的にスタートマークに戻る
- フィルム巻戻し: 巻戻しボタンを一度押してクランクハンドルで巻き戻す
- フィルター取付マウント: ねじ込み式 ねじ径 35.5 mm
- 外型寸法: 幅 140 × 高さ 92 × 厚み 68mm
- 重量: 780 g (本体のみ)
- 付属品: 皮ケース
ハンドバンド (別売)
レンズフード (別売)

各部の名称

- | | |
|------------------------------|-----------------|
| ① 距離目盛 | ⑮ 露出計連動解除ボタン |
| ② 被写界深度目盛 | ⑯ 露光指数切替えリング |
| ③ シャッターボタン | ⑰ シャッター速度調節リング |
| ④ 露出計指針窓 | ⑱ セルフタイマーセットレバー |
| ⑤ 受光板 | ⑲ 接眼窓 |
| ⑥ 露光指数切替えボタン | ⑳ フィルム巻戻し用クランク |
| ⑦ シャッター速度目盛窓 | ㉑ フィルムカウンター窓 |
| ⑧ 完全自動セットリングおよび
絞り調節リング | ㉒ 三脚取付ネジ |
| ⑨ フィルター取付けねじ | ㉓ 裏蓋開閉爪 |
| ⑩ アクセサリーシュー | ㉔ フラッシュ接続ソケット |
| ⑪ 距離計窓 | ㉕ 焦点調節ノブ |
| ⑫ ゴールデンフレーム窓および
露光過不足シグナル | ㉖ スプロケット |
| ⑬ フィルム巻戻し用クランク | ㉗ フィルム巻取りスプール |
| ⑭ ファインダー窓 | ㉘ フィルム巻上げレバー |
| | ㉙ 巻戻しボタン |
| | ㉚ フィルム種別指示板 |



1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

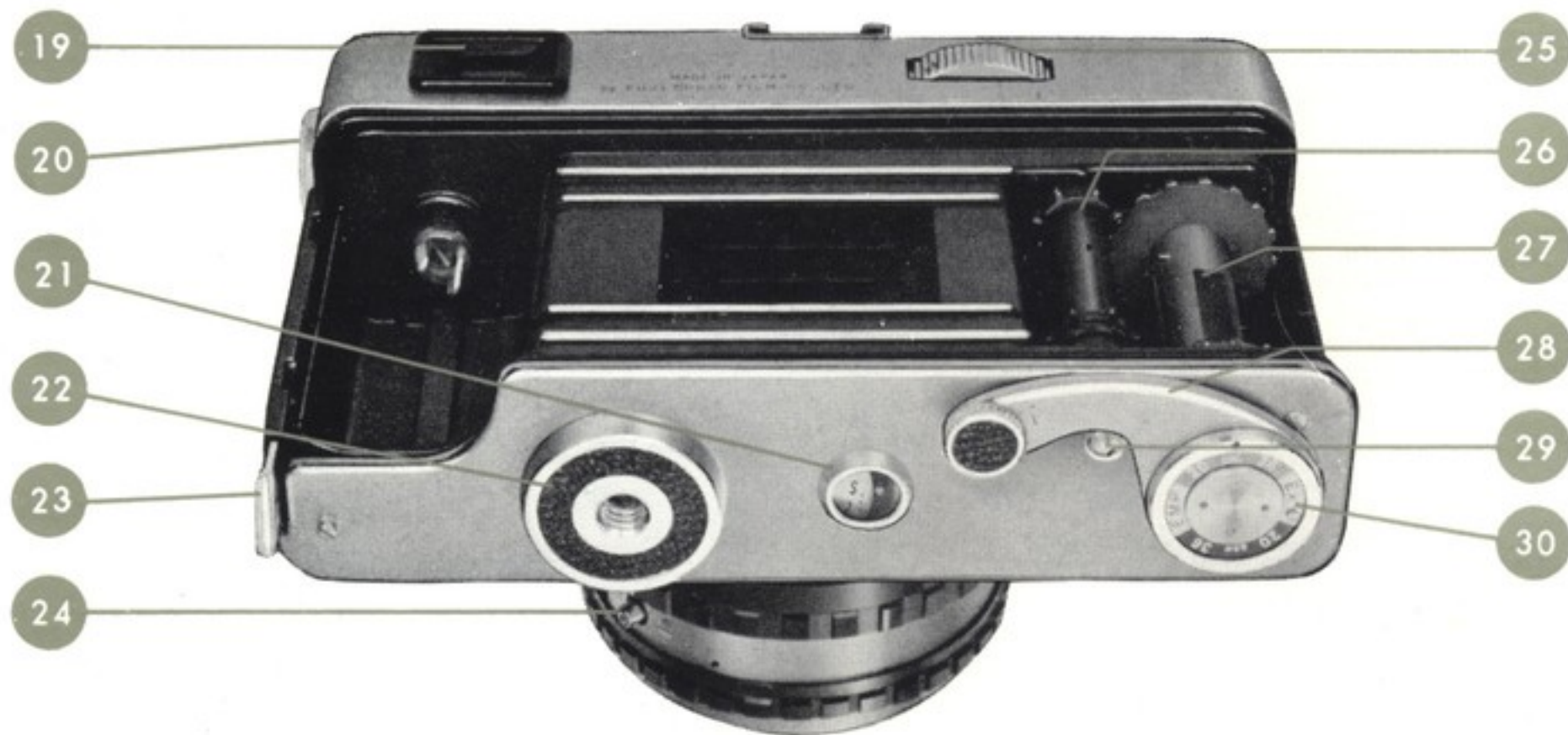
14

15

16

17

18

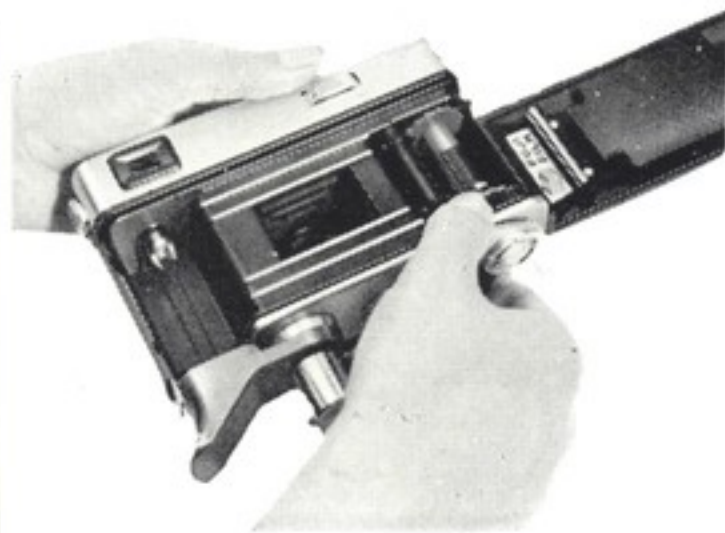


フィルムの入れ方

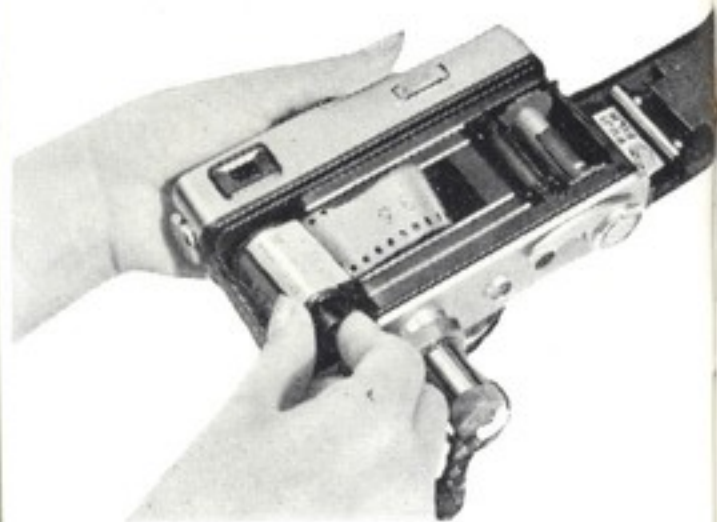
フィルムは 35mm 日中装填用パトローネ入りフィルムを用品です。
フィルムをカメラに入れる時は直射日光を避けて下さい。



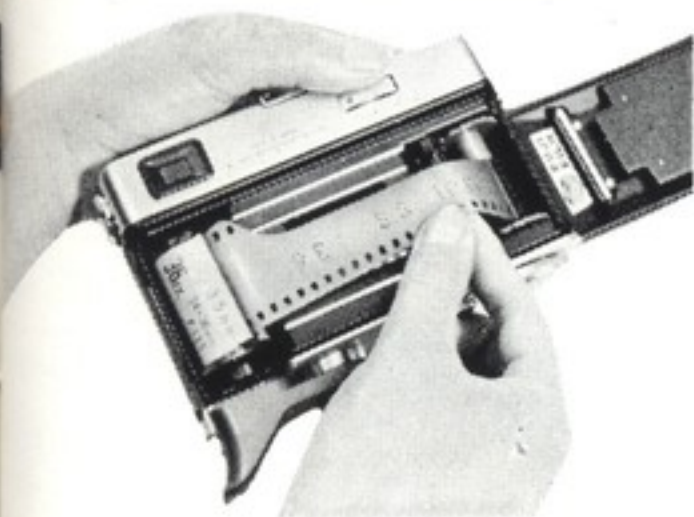
1. カメラ底部の裏蓋開閉爪⑳を引き出しますと、裏蓋が浮き上がりますから、裏蓋を完全に開いて下さい。



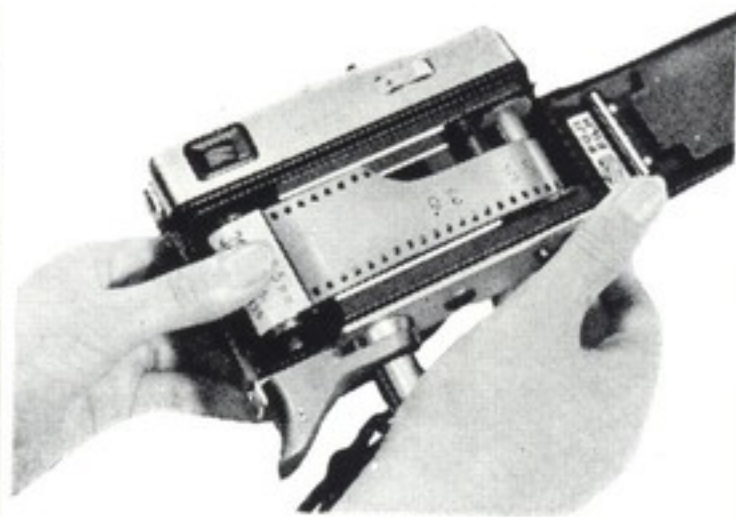
2. 親指でフィルム巻取りスプール㉑を矢印の方向に回して、フィルムさし込み口を真上に向けます。



3. パトローネの軸が出ている方を、カメラの底部に向けて、フィルムをフィルム室にはめ込みます。



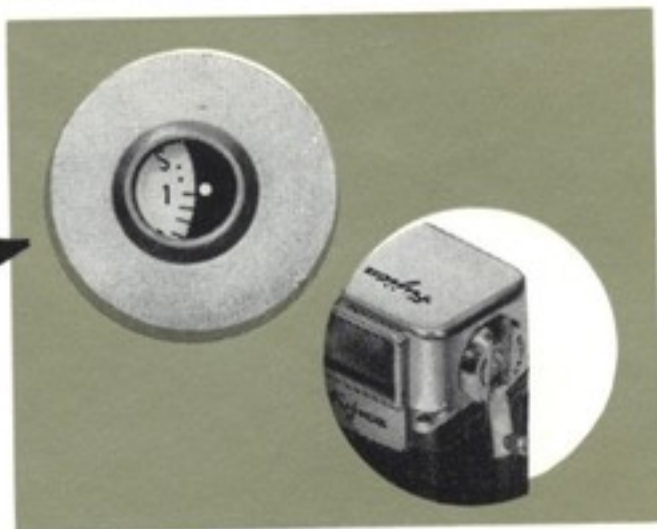
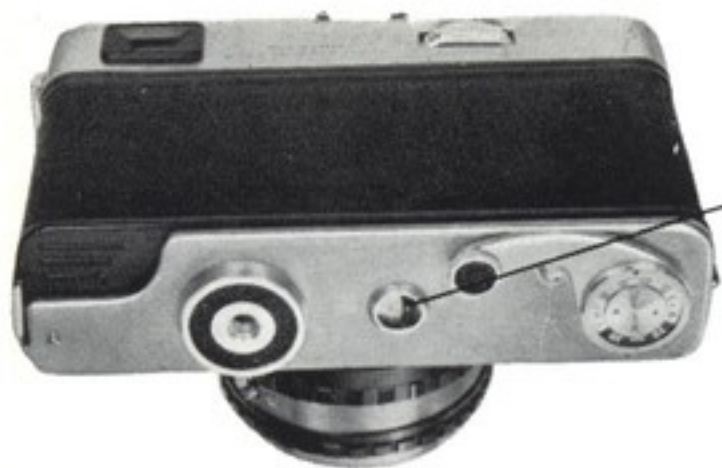
4. フィルムの先を巻取りスプールの矢印のある側にぴったりよせて、スプリング板の隙間にさし込んで下さい。
矢印の穴の下をフィルムが通るまで、十分に押しこんで下さい。



5. パトローネを軽くおさえて、フィルムのパーフォレーション（送り穴）をスプロケット②⑥の歯にかませながら、巻上げレバー②⑧を静かに巻き上げます。



6. 裏蓋を閉じて、開閉爪を掛け、シャッターボタン③を押します。



7. フィルムカウンター⑳は“S”になっておりますから、“1”をさすまでフィルムを巻き上げます。
- カメラ側面にある巻戻し用クランク㉓を起して、

矢印の方向に抵抗を感じるまで巻いておきますと、フィルムを1枚巻上げるたびに、この巻戻しクランクが回りますので、フィルムが正常に巻取られていることがわかります。

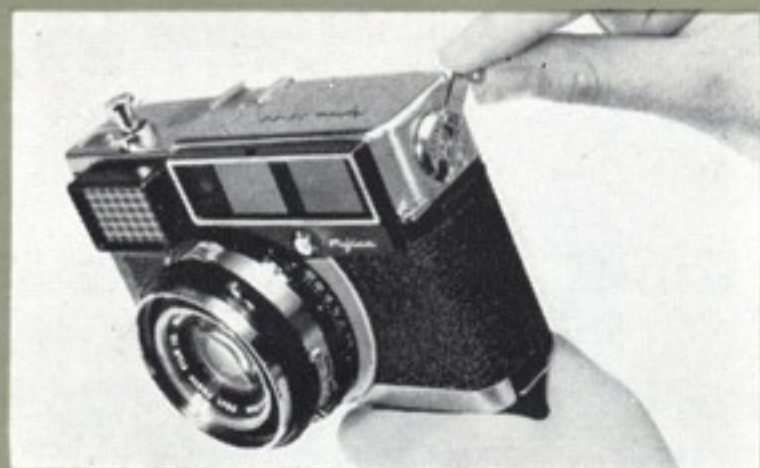
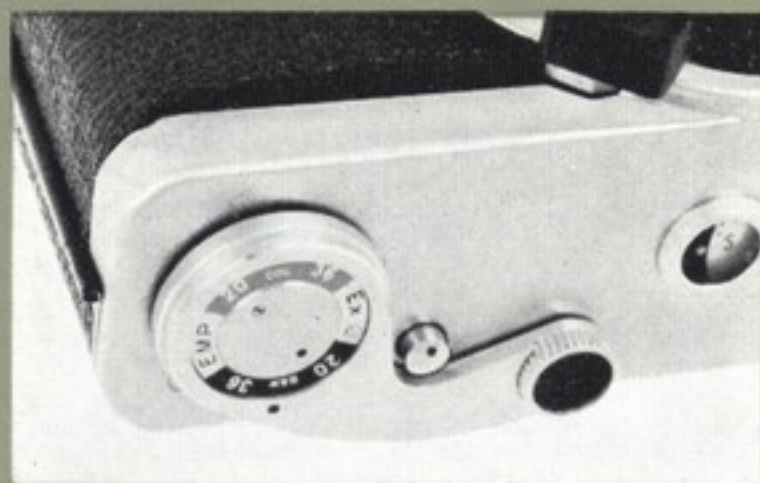


8. フィルム装填が終了しましたら、忘れずに巻上げレバー軸についているフィルム種別指示板㉔を回して、装填したフィルムの種類を外側の・印に合わせて下さい。

フィルムの取り出し方

フィルムを取り出す場合も直射日光を避けて下さい。

1. カメラ底部にある巻戻しボタン⑳を引込むまで押します。
2. 巻戻し用クランク㉑を起して矢印の方向に回します。
巻いているうちに急に抵抗が軽くなり、巻戻しボタンの回転が止まったとき、巻戻しを止めます。
3. 裏蓋を開いてフィルムを取り出して下さい。



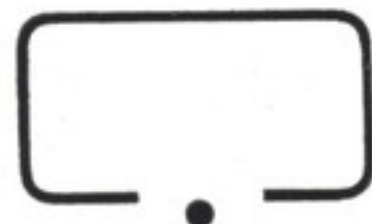
撮 影 の 仕 方

フジカ35-EEは、EEだけでなく、露出計の指示によるセミ連動でも、また、まったくのマニュアルコントロール（手動調節）でも自由にお使いになれます。

● **EEの場合** シャッターを切れば自動的に正しい露光が得られますが、フジカ35EEはカメラ上部の露出計指針が常にその場の絞り値を示しますので、これによってお望みのシャッター速度と絞りをセットできます。また、これにより露光の過不足がただちにわかりますから、必ずEEで撮影のできる速度を選んでおけば、シャッターチャンス逃すようなことはありません。

● **セミ連動の場合** 露出計は、絞りをマニュアルに切りかえても、セットした露光指数とシャッター速度に連動して正しい絞り値を示しますので、セミ連動カメラとして、特に特殊な画面効果を望まれる時に便利に使えます。（EEの場合は、露光過度または不足のときファインダー視野内の警告マークが赤色に変わります。絞りをマニュアルにしたときは、警告マークそのものが消えます。）

● **露出計連動範囲外で使う場合** EEまたはセミ連動で使っている時、もし、シャッター速度を連動範囲内の最低速度にしても、なお暗すぎて撮影できないときは、連動を解除してそれ以下の速度あるいはバルブ露光をすることができます。




EEの場合

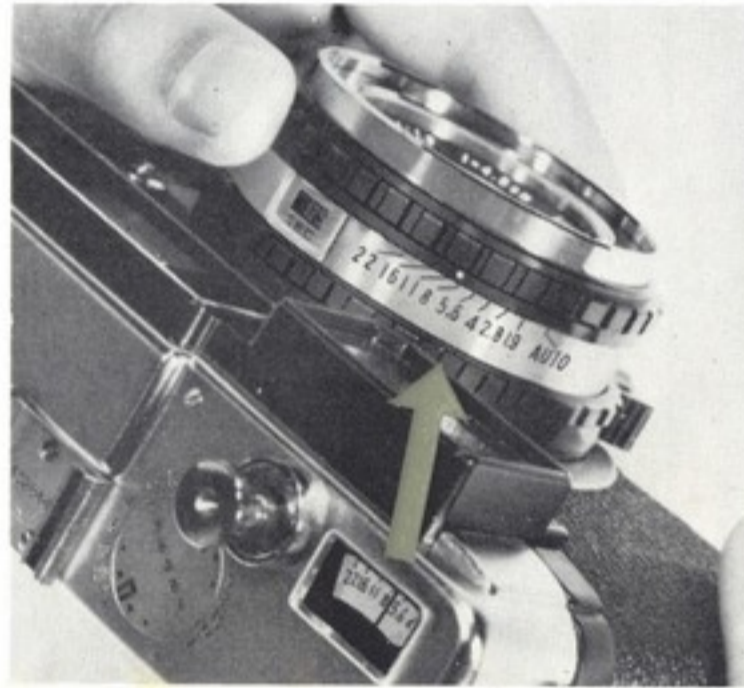


絞りをマニュアルにした場合

I EEでの使い方

		準備			撮影		
		1	2	3	1	2	3
手 順	絞リングを AUTO に合わせる	露光指数を合わせる	シャッタースピードをきめる	距離を合わせる	ファインダー内の露光過不足警告マークを確認する	シャッターを切る	
							
操 作	軽い抵抗を受けますが白点に正確に合わせて下さい。	露光指数切替えボタン⑥を引きながら、露光指数切替えリング⑩を回して使用フィルムの指数をシャッター調節リング⑪上の白点に合わせます。	撮影する被写体のことを考えながら任意のシャッタースピードを、シャッター速度調節リング⑫を回して、速度目盛窓⑬に出します。	ファインダーの接眼窓⑭を見ながら、二重像が一致するように焦点調節ノブ⑮を回しながら調節します。	シャッターボタン③がほとんどボディに沈むくらいまで静かに押しながら、ファインダー内の黄色の小円が、赤色に変らないかを確認めます。これが第1段階です。	第1段階で警告マークを確認したら、そのまま、更にシャッターボタンを押し込み、シャッターを切ります。これで撮影が終了します。	
	備 考	絞りを AUTO に合わせるとき、シャッターボタン③がとび出し、EE 撮影の準備ができます。		このとき、カメラを被写体に向けて、カメラの上面にある露出計指針窓④を見ながら、指針が“8”くらいを指すようにシャッタースピードを合わせるのが上手な合わせ方です。		この第1段階で絞りが露出計の指示するところまで開かれます。もしも警告マークが赤色に変ったら、そのままでは適正露光が得られませんから“準備”の手順3の要領でシャッター速度を合わせ直します。	★ もし、シャッタースピードを連動範囲の許すかぎりの最低速度にしても、なお警告マークが赤いときは、暗すぎてEEでは撮影できませんので、“露出計連動範囲外での使い方”(16ページ)を参照して適切な露光をして下さい。

II セミ連動での使い方

		準備			撮影		
準備		1	2	3	1	2	3
手 順	露光指数を合わせる	シャッタースピードをきめる	絞りを露出計に合わせる	シャッターの第1段階を解除する	距離を合わせる	シャッターを切る	
							
操 作	露光指数切替えボタン⑥を引きながら、露光指数切替えリング⑩を回して使用フィルムの指数をシャッター調節リング⑭上の白点に合わせます。	撮影する被写体のことを考えながら任意のシャッタースピードをシャッター速度調節リング⑮を回して、速度目盛窓⑦に出します。	絞り調節リング⑧を回して、露出計指針の示す絞り数値に、絞り目盛を合わせます。	EE の時にとび出していたシャッターボタン③を押しこんでおきます。	ファインダーの接眼窓⑱を見ながら、二重像が一致するように焦点調節ノブ⑲を回しながら調節します。	普通のカメラのように静かにシャッターを切ります。これで撮影が終了します。	
	備 考	セミ連動のとき、露出計は露光指数とシャッタースピードに連動しますから、露出計の針が正しい絞りを指示します。	このとき、ファインダー内の黄色い小円が消えてEEでなくなったことを示します。	とび出していたのは絞りを自動的に開くためですが、セミ連動では絞りは手動になるので第1段階は不要になります。		★ もし、シャッタースピードを連動範囲の許すかぎりの最低速度にしても、露出計の針がまったくふれないときは、“露出計連動範囲外での使い方” (16ページ) を参照して適切な露光をして下さい。	

III 特殊な撮影の仕方

EE撮影の場合でも、セミ連動の場合でもいくつかの特殊撮影法を知っておくと、より効果的な撮影ができますので、次にその例を記しましょう。

1. 被写体の部分的な明るさに露光を合わせたい時

EE のとき

もしも被写体に近づくことができるなら、露光を合わせたい部分、たとえば顔などのごく近くまでカメラを近づけ11ページの“撮影”2まで行なった

ままで、撮影位置に戻ってシャッターを切れば顔に合わせた露光が得られます。

セミ連動のとき

EEのときと同じく、ごく接近した所での指針の指す絞り値を読みとり、12ページの“準備”3によって絞りをセットし、撮影位置に戻ってシャッターを切ります。



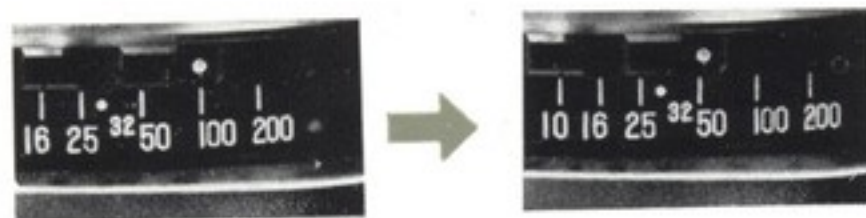
2. フィルターを併用する場合

EE のとき

あらかじめ、フィルターの露光倍数に合わせて、露光指数のセッティングをずらしておきますと、便利です。

たとえば、JIS 100 (ASA 100) のフィルムに露光倍数 2 倍のフィルターを使用するときは、露光指数を 50 に合わせておけばよいのです。

例 フィルター露光倍数 2 倍の場合



セミ連動のとき

EE のときと同じ方法によるか、または、絞りのセッティングを露出計指示値よりも露光倍数だけ明るい方へセットします。

例 フィルター露光倍数 2 倍の場合



3. 背景が非常に明るい場合

EE のとき

13ページの1の場合の方法が使用できるときは、これを用います。また、被写体が遠い時には、あらかじめ露光指数の目盛を感度の低い方に1目盛ずらしておきます。

4. 背景が非常に暗い場合

EE のとき

13ページの1の場合の方法によるか、または、露光指数を高い方へずらします。

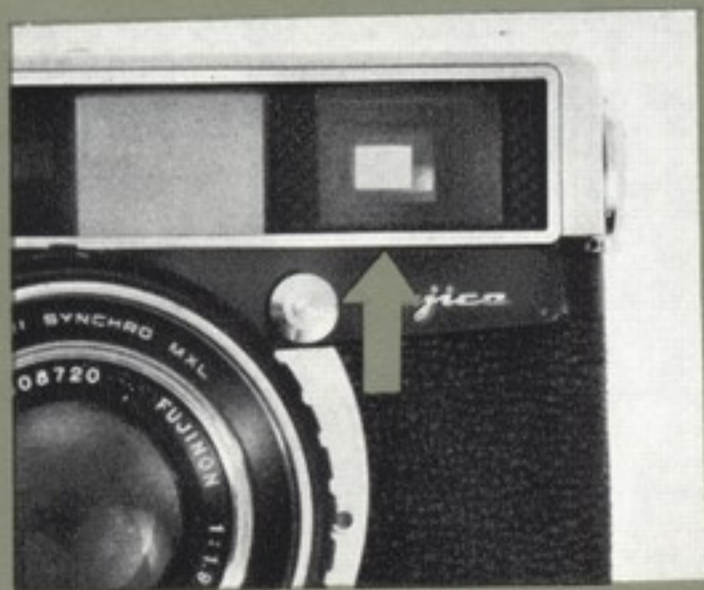
セミ連動のとき

EEのときと同じ方法を用いるか、または絞りのセッティングを14ページの2の場合と同じようにずらします。

セミ連動のとき

EEのときと同じ方法を用いるか、または、絞りを暗い方へずらします。

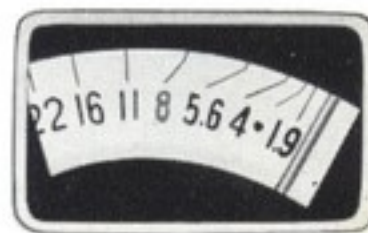
IV 露出計連動範囲外での使い方



EEの場合もセミ連動の場合も、シャッター速度調節リング⑰は、そのときセットした露光指数による露出計の連動範囲でロックされて、それより低速度には回らないようにできています。

もしも更に低い速度を必要とする場合は、連動解除ボタン⑮を上方に押し上げながら速度調節リングを回しますと、ロックがはずれてB目盛まで回すことができます。

なお、この状態では露出計は作動せず指針は右端に静止しております。



フィルムの露光指数

フィルムはその種類によって、うけた光に感じる度合が違います。これを感度と呼び、その目安として露光指数という値が、きめられています。

この数値は ASA（アメリカ標準規格）という単位記号で示されており、JIS（日本工業規格）でもこれと同じ数値を採用しておりますので、JIS 100（ASA 100）というように使っています。

その数列は、

…… 10, 12.5, 16, 20, 25, 32, 40, 50, 64, 80, 100, 125, 160, 200 ……

となっており、その数値が2倍であるとフィルムの感度も2倍であることを示しております。

たとえば、JIS 100 のフィルムは、JIS 25 のフィルムの4倍の感度を持っていることを示します。

富士フィルムの露光指数を次に記します。

露光指数一覧表

フ イ ル ム 名	昼 光	電 灯 光
ネ オ パ ン F 35mm	32	25
" SS "	100	80
" SSS "	200	160
フ ジ カ ラ ー リ バ ー サ ル "	10	—
" ネ ガ テ ィ プ "	32	32
" R 1 0 0 "	100	—

ファインダー

フジカ 35-E E の接眼窓に目を当ててご覧になると被写体は鮮明な金色の枠（ゴールデンフレーム）に囲まれて見えます。

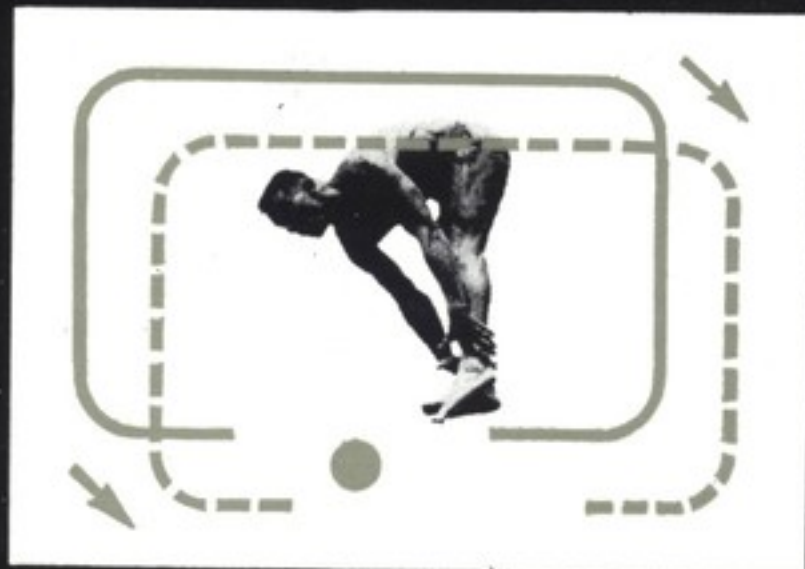
このゴールデンフレームによって画面を確実に決めることができます。

焦点を遠景から近くのものへと移してゆきますと、ゴールデンフレームは窓の対角線にそって右下のレンズ方向へ移動します。

これはファインダーに組み込まれたパララックス（視差）匡正装置が自動的に働いているからで、この自動装置のおかげで、頭が切れたりする失敗はまったくありません。

なお、遠距離の場合、フィルムに撮影される実画面はゴールデンフレームの内側に見える範囲より多少広くなります（約115%）。

近距離ではほぼ同範囲です。



ピントが合っている

ピントが合っていない



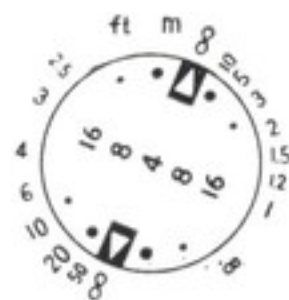
焦点調節の仕方

フジカ35-EEの接眼窓は大きくて非常に見やすく、眼鏡をかけた方でも焦点調節の際、眼鏡をはずす必要がありません。

被写体に焦点が合っていない時は中央部の像が二重に見えますから、カメラの背面にある焦点調節ノブ②を回して像が重なるようにして下さい。

この像が重なって一つに見えた時、その被写体にピントが合っているのです。

この時のカメラから被写体までの距離は距離目盛①に表示されます。



Fujica 35-EE

433450

被写界深度

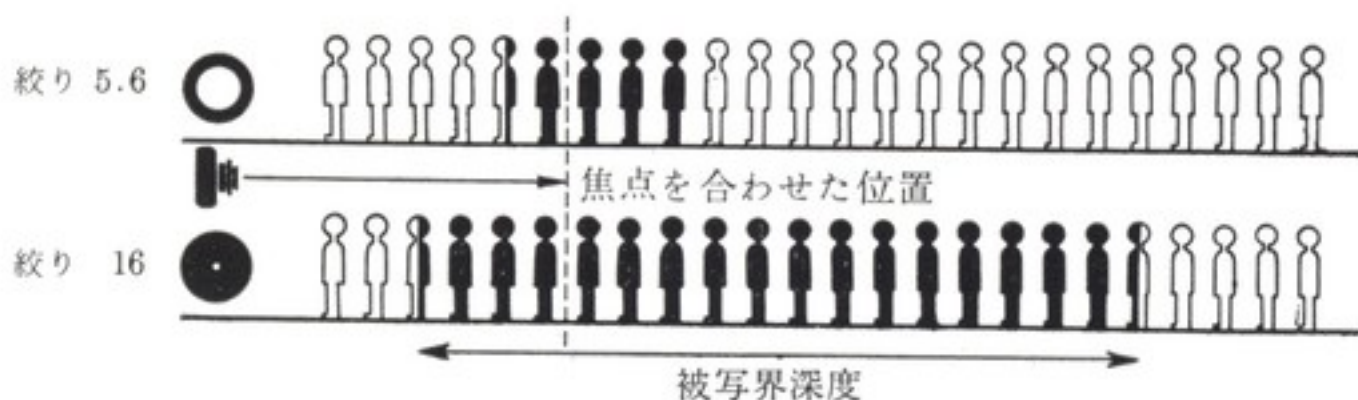
レンズの絞りはフィルム面に達する光の量を調整するほかに被写界深度も調節する重要な役目を持っています。

レンズは焦点を合わせた点を中心に、その前後のある範囲まで鮮鋭に描写しますが、これを被写界深度といいます。

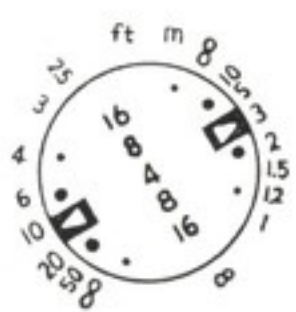
被写界深度は被写体までの距離と絞り値によって変化します。

すなわち距離が遠くなると同じ絞りでも深度（ピントの合う範囲）は深くなり、また、同じ距離では絞りを開けると浅く、絞り込むと深くなります。

その深度は焦点を合わせた点に対して手前側に浅く後側に深くなる傾向があります。



- フジカ35-EEでは、撮影距離に応じた被写界深度が、カメラ上部の深度目盛②に表示されます。たとえば、被写体までの距離3mの場合、絞りf4では黒い四角の部分だけが被写界深度です。f8に絞ると内側の黒点のあいだ、つまり約1.9mから7mくらいまで、f16にすると外側の黒点ですから約1.4mから無限遠まで鮮鋭に写ることを示しています。



過焦点マークによる撮影

被写界深度の性質を利用したのが過焦点マークによる撮影方法です。すなわち、カメラ上面の距離目盛の5mが赤文字になっていますが、同様に絞り目盛の8も赤文字になっています。

ここで赤文字どうしの組み合わせ、すなわち絞りf8で距離を5mに合わせますと、被写界深度目盛②の8の二つの黒点にはさまれた範囲が深度内に入ります。

この関係を深度表で調べてみますと、f8で5mに焦点を合わせた時は、手前は2.55mから222.2mまでが深度内に入ることになります。この場合200mと無限遠はほとんど変わりがないので、2.55mから無限遠までが深度内に入り、この範囲では焦点調節を行なわないうで撮影することができ、スポーツ等の動きの早い被写体を写す時は大変便利です。

フジカ 35-EE の被写界深度表

f \ m	0.8	1	1.5	2	2.5	3	4	5	6	8	10	20	∞
1.9	0.77 ~0.83	0.96 ~1.04	1.41 ~1.61	1.84 ~2.20	2.25 ~2.82	2.64 ~3.47	3.38 ~4.90	4.07 ~6.50	4.70 ~8.30	5.84 ~12.72	6.84 ~18.68	10.36 ~∞	21.42 ~∞
2.8	0.76 ~0.84	0.94 ~1.07	1.37 ~1.66	1.77 ~2.31	2.14 ~3.00	2.50 ~3.76	3.15 ~5.49	3.74 ~7.58	4.26 ~10.16	5.18 ~17.70	5.94 ~31.89	8.44 ~∞	14.46 ~∞
4	0.75 ~0.86	0.92 ~1.10	1.32 ~1.74	1.68 ~2.47	2.02 ~3.29	2.33 ~4.22	2.89 ~6.53	3.37 ~9.74	3.80 ~14.48	4.50 ~36.99	5.07 ~∞	6.77 ~∞	10.13 ~∞
5.6	0.73 ~0.89	0.89 ~1.15	1.26 ~1.87	1.58 ~2.72	1.88 ~3.76	2.14 ~5.04	2.60 ~8.77	2.99 ~15.75	3.31 ~33.59	3.83 ~∞	4.24 ~∞	5.36 ~∞	7.23 ~∞
8	0.70 ~0.93	0.85 ~1.22	1.17 ~2.09	1.45 ~3.23	1.70 ~4.81	1.91 ~7.14	2.27 ~18.07	2.55 ~222.2	2.78 ~∞	3.14 ~∞	3.40 ~∞	4.09 ~∞	5.06 ~∞
11	0.67 ~0.99	0.80 ~1.33	1.09 ~2.45	1.32 ~4.21	1.52 ~7.41	1.68 ~14.98	1.95 ~∞	2.16 ~∞	2.32 ~∞	2.56 ~∞	2.73 ~∞	3.15 ~∞	3.68 ~∞
16	0.63 ~1.12	0.74 ~1.58	0.97 ~3.47	1.15 ~8.63	1.29 ~79.94	1.41 ~∞	1.59 ~∞	1.72 ~∞	1.82 ~∞	1.96 ~∞	2.06 ~∞	2.29 ~∞	2.53 ~∞
22	0.58 ~1.32	0.67 ~2.03	0.86 ~6.99	0.99 ~∞	1.10 ~∞	1.18 ~∞	1.30 ~∞	1.39 ~∞	1.45 ~∞	1.54 ~∞	1.60 ~∞	1.73 ~∞	1.84 ~∞

錯乱円直径 0.05 mm

シャッター速度について

- シャッター速度目盛窓⑦には等間隔に目盛られた B. 1. 2. 4. 8. 15. 30. 60. 125. 250. 500. 1000 の目盛が現われます。30 とは $\frac{1}{30}$ 秒, 500 とは $\frac{1}{500}$ 秒の間シャッターが開くことを意味しています。




したがって、この数字が多くなるほどフィルムに光の当たる時間が瞬時的となります。

- B とはバルブ露光の略で、シャッターボタンを押している間はシャッターが開いており、放すと閉じることを意味します。

つまり 1 秒より長い露光を必要とするときなどに使用します。

動く被写体を止めて
撮影するには

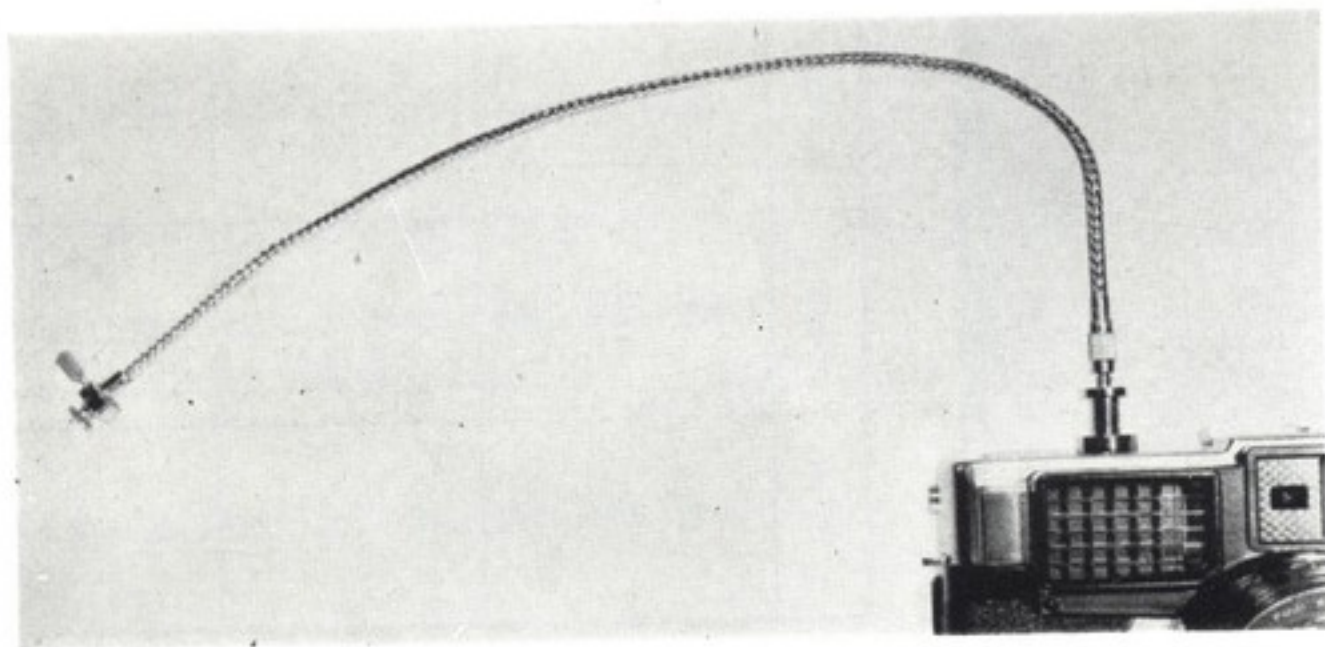
動いている被写体を撮影するとき
は被写体との距離、被写体の運動速
度、運動方向によってシャッタース
ピードを適当に選ばないと被写体
を写し止めることができず、フィル
ム上にズレた像ができてしまいます
から、右の表を参照して適当なシャ
ッタースピードを選んで下さい。

被 写 体	走る自動車 	走る自転車 	歩く人 
距離 (メートル)	30 16 8	30 16 8	30 16 8
正面 から	1/60 1/125 1/250	1/15 1/30 1/60	1/8 1/15 1/30
斜め から	1/125 1/250 1/500	1/30 1/60 1/125	1/15 1/30 1/60
側面 から	1/250 1/500 1/1000	1/60 1/125 1/250	1/30 1/60 1/125

セルフタイマーの使い方

● 絞りをマニュアル（手動）にした場合

セルフタイマーは、絞りをマニュアルにして使用すれば、まったく普通のカメラと同様に使えます。すなわち、セルフタイマーセットレバー⑱を押し下げてセットしたら、シャッターボタンを押してセルフタイマーをスタートさせます。このときの絞りは露出計指針の指示に合わせておきます。



● EEの場合

EEの場合は、普通のカメラのときのように、シャッターボタンを押しただけでは、セルフタイマーはスタートしても、絞りが開かず撮影できませんので、できるだけ絞

りをマニュアルにしてお使いになる方が簡単です。EEの場合、絞りを開いておくためにはロックネジ付きのケーブルリリースを使用してシャッターを押しておかねばなりません。(この場合シャッターボタン自身は沈みません。)

- 1) まず、ロックネジ付きのケーブルリリースをシャッターボタン③のリリースソケットにねじ込みます。
- 2) つぎに、セルフタイマーセットレバー⑱を押し下げてセットします。
- 3) リリースを押し、ロックネジをしめて撮影に入ります。

フラッシュによる撮影

この撮影にはフラッシュガンと閃光電球が必要です。

シャッターボタンを押すと閃光電球に電流が流れて発光するのですが、実際には電流が流れはじめてから最も明るくなるまでにわずかな時間のずれがあります。この時間の長短によって電球にF級とか、M級とかの区別があります。

フジカ 35 EE は M 級の閃光電球を使用するためのM接点と、スピードライトを使用するためのX接点とを備えております。

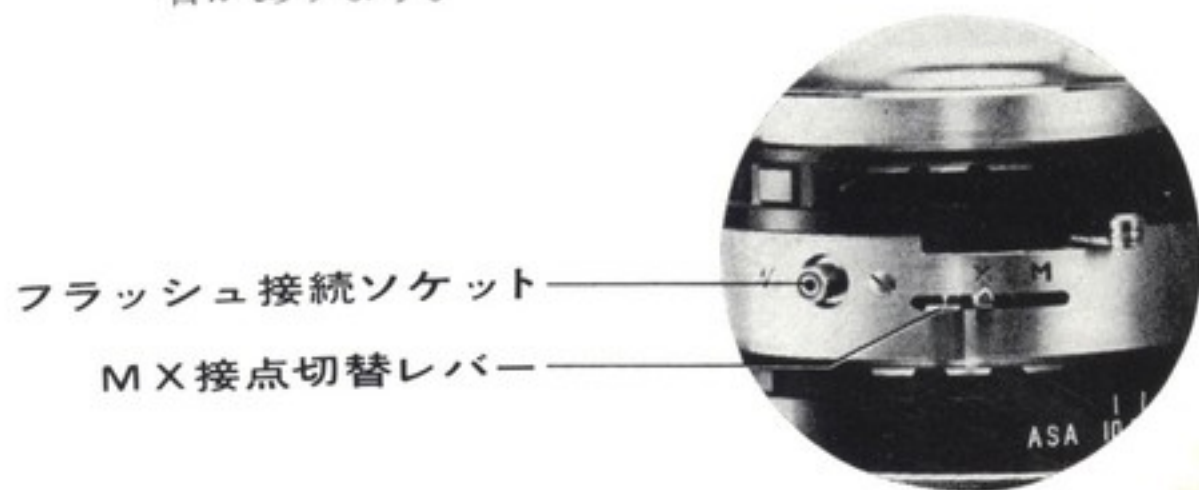
ご使用のフィルムに同封の説明書で電灯光露光指数を調べて下さい。次にシャッター速度調節リングをご希望の速度に合わせて、閃光電球に付属しているガイドナンバー表から上記の露光指数とシャッター速度の組み合わせに対するガイドナンバーを見つけてます。

そして閃光電球の使用位置から被写体までの距離でガイドナンバーを割った数字にレンズの絞りを合わせれば適正露光が得られます。

フラッシュ同調表

閃光電球の種類	シャッター接点切換え	
	M	X
M 級	全速度同調	1/60 以下
F 級	不 能	1/125 以下
スピードライト	不 能	全速度同調※

※ ただし 1/1000 秒の場合、ある種のスピードライト発光器では、同調しない場合があります。



取扱い上のご注意

- シャッターをセットしたままで長期間しまい込んで置くのはシャッターの性能保持上好ましくありません。もちろん、ご使用中などの短期間はさしつかえありません。
- シャッターをセットしたあとで速度を変更してもさしつかえありませんが、一般に目盛の中間に合わせても中間の速度は出ません。
- フラッシュ撮影をしない時は、MX接点切替えレバーをX接点の方に合わせておいて下さい。
- セルフタイマーのセットは、シャッターセットの前でもあとでもさしつかえありませんが、EEでご使用になる場合は必ずロックネジ付のケーブルリリースで撮影して下さい。

(EEの場合、直接シャッターボタンを押してスタートさせたので

は撮影できません。)

- ご使用後の清掃については、特にレンズの場合、柔く清潔な刷毛または布で軽く埃をはらう程度に止めて下さい。
もし指紋などのついた場合には、洗いざらした清潔な木綿にアルコールを少量つけて軽く拭きとります。
- 露出計の受光板窓、距離計、ファインダー部も、レンズと同様に手入れをします。
- フィルムを写し終って最後に巻き上げたとき、途中でレバーが止まり皮ケースがはずせないときは、巻戻しボタンを押しながら巻き上げて下さい。

フジカの便利な付属品

フジカの優れた性能を完全に発揮させるために
ぜひ、この付属品をご使用下さい。



レンズフード

レンズフードはご使用の便をはかって
特に工夫して作られ、プラスチックの
部分がレンズ前面のリングの内側の溝
にはまるようになっていて着脱が敏速
に行なえます。



皮 ケ ー ス

皮ケースは充分皮質を吟味し、補強金
具をつけてあります。



ハンドバンド

フジカ35-EEは、左手でカメラを持ち、操作は右手だけで行なえるよう設計されていますが、このハンドバンドの利用により、更に操作が容易になり、カメラを不意に取り落したりする危険もなくなります。



皮ケースのままで ハンドバンドがつけられます

またカメラを皮ケースに納めたままハンドバンドが使用できるよう皮ケースの底部に突起がつけてあります。



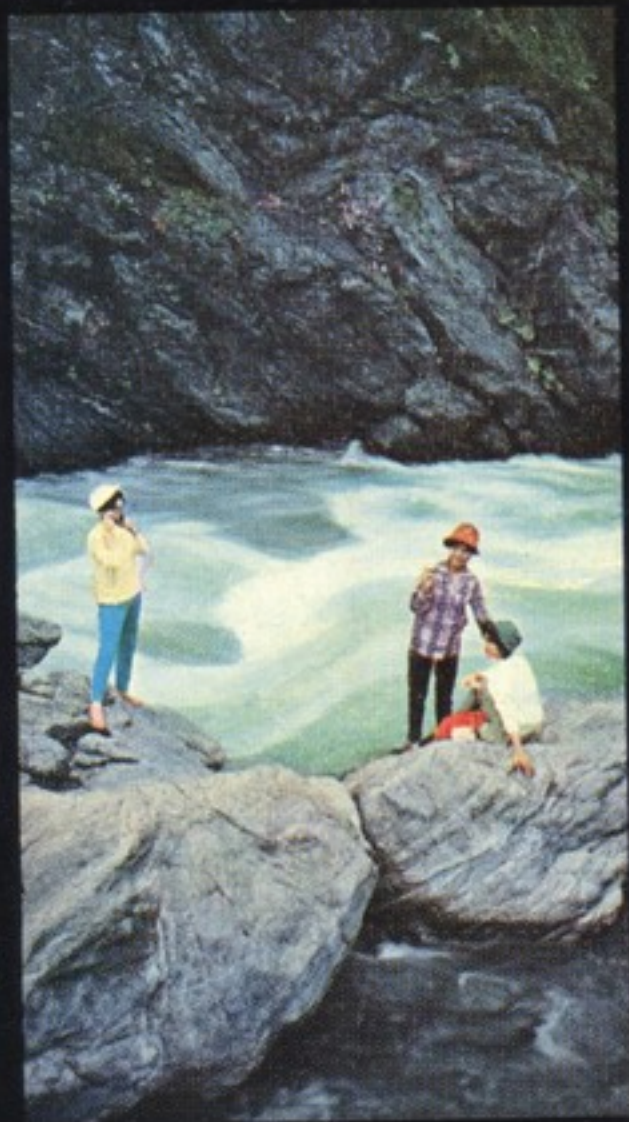
富士写真フイルム株式会社

東京都中央区銀座西2の3

電話 東京 (561) 8551・8741(代)

東京出張所	東京都中央区銀座西1の1先 高速道路紺屋区路下室2階	電話 東京 (561) 8551・8741(代)
大阪出張所	大阪市東区備後町4の15	電話 大阪 (202) 0231(代)
名古屋出張所	名古屋市中区南伊勢町2の8	電話 名古屋 (24) 4447~9
福岡出張所	福岡市行町54	電話 福岡 (2) 1126~8
札幌出張所	札幌市大通り西5の11大五ビル内	電話 札幌 (2) 2002・5582・8783
サービス・ステーション 富士フォトサロン	東京都中央区銀座西5の4	電話 東京 (571) 8017
サービス・ステーション 大阪富士フォトサロン	大阪市東区備後町4の15	電話 大阪 (202) 0231(代)

Fujica 35-EE



富士写真フイルム株式会社
東京都中央区銀座西2の3